

大口建設業協組

災害への備え再認識

宮城県に研修視察



識した。

11日から13日までの3日間、東日本大震災で被災した宮城県の現地を研修視察した。震災より1年半が経過し、今なお山積するがれきや被災者の嘆きを見聞きし、災害に対する備えの重要性を再認識した。

視察には会員ら13人が参加。石巻市の木の屋石巻水産では、語り部が地震・津波の恐ろしさを復興について説明した。200もの缶詰工場が全滅し、現在でも道路が1m



骨組みだけとなった防災対策庁舎を訪れる会員(上)と、支援金を手渡す藤井理事長(下左)＝南三陸町で

冠水したままの場所も。あちこちのがれきの山にガス抜きパイプが設置された状況には目を奪われた。

南三陸町では、骨組みだけになった防災対策庁舎を訪れ、津波の猛威

を実感。ある避難所では、「家も財産も何もかも失った」との老女の言葉と頼りない様子に言葉を失った。また、役場に伊佐市役所より出向中の上田恒静氏と小倉史郎氏を激励するとともに、町内小中学校へのスポーツ用品購入支援金も手渡した。

東松原市は、島々による津波の緩和もあったが、何よりも日ごろの避難訓練が徹底されていたことから多くの命が救われたとのこと。がれきも分別収集が丁寧で処理も比較的に進んでいることに感心した。

藤井理事長は「われわれ建設業が現地を実際に見ることは大変意義深い

ものがあつた。災害の被害を最小限に食い止めるには、やはりかねがねの心構えが大切だ。一方、復興の前線基地である仙

優村口さんが勝

士会指宿支部



大会には、会員やその家族らが参加。親睦を深め合いながら、8コースを2ラウンドしてスコアを競い合った。

競技の結果、ホールインワンを2回達成した村口さんが優勝。準優勝は永田悦郎さん(迫田建設(株))、3位は井手長生さん(南植村塗装)だった。

写真(左から2人目)が優勝した。おとしまでは、ナイター運動会を行ってきた同支部。昨年からは、さらに多くの会員に参加してもらい親睦を図ろうと、グラウンドゴルフ大会を実施している。

吉利駅跡地整備完成式典

地域活性化に期待

地域の活性化や観光振興を図る目的で、県鹿児島地域振興局が整備を進めていた地域振興推進事業「吉利駅跡地整備」が、このほど完成し、日置市主催の完成式典が21日、同市日吉町の現地(旧南薩鉄道吉利駅跡地)で開かれた。

完成式典には、宮路高光日置市長をはじめ、岩崎昌弘県



除幕式を行い完成を祝う関係者＝日置市の現地で

市長は「たくさんの方に利用がある地で、これまで跡地周辺の活用を検討してきた。サイクリングロードなどを上手に利用して、地域の活性化につなげていきたい」と挨拶。同振興局建設部の前田静俊部長から工事経過報告があったほか、施工を担当した(有)今村商会(今村仁社長)に感謝状が贈られた。



登録証を手に写真に納まる宮里社長(前列右)、大迫さんら(後列左)＝鹿屋市の同社で

(有)宮里建設(宮里郁男社長、鹿屋市)はこのほど、OHSAS18001・2007労働安全衛生マネジメントシステムを取得した。認証機関と審査機関は日本検査キューエイ(株)。適用範囲は造園・土木・建築・管他の施工および付帯サービス。

宮里建設 OHSAS18001:2007を取得

原点に返り、取得することである安全への認識が高められる」との観点から、大迫真由美工事部総括責任者をチームリーダーに本格的に取得に向けて取り組んだ。

大迫総括責任者は「会社の大小にかかわらず事故はあつてはならない。毎日、たまたま、と笑顔で帰れる安全・安心・快適な職場環境を築くため、全員一丸で向上を目指し邁進したい」と抱負を述べた。

地域貢献活動

徳留忠昭南さつま市建設部長が「皆さんの協力に感謝。きれいな公園に生まれ変わると期待している」と激励。作業内容を確認した後、2班に分かれて作業を実施した。

参加者は高所作業車に乗り込み、フェンスから道路側にはみ出した高木の枝木をせん定ばさみなどを使って伐採。半日かけた作業により、周辺はすっきりときれいになった。

坂口会長は「今後も地元への感謝を忘れず、皆に喜ばれる活動を展開していきたい」と語った。

参加会員は次の通り。弥栄造園土木 中崎造園 坂口虎竹園 上野造園 新田造園 片

平造園産業 加世田緑化センター 寺園造園 馬込造園

～ 日置地区安全運転管理協 ～ たすけあい協会に寄付



日置地区安全運転管理協議会(西郷進一会長)は19日、社会貢献活動として毎年恒例となっている県交通被災者たすけあい協会

(福石堅郎理事長)に愛の献金を行った＝写真＝。

同日の進呈式は、日置市の日置警察署(八丸宏明署長)で行われ、西郷会長が「交通遺児は、みんなで支えていかないとけない。わずかな献金ですが、役立ててください」と言葉を添え、田口清実事務局長に献金を手渡した。

同協会では15日、同市の南九州カントリークラブで交通安全チャリティゴルフ大会を開催。39人の参加者から5万8800円の寄付があり贈呈した。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp



～ 南さつま市造園協会 ～

2公園で高木剪定

南さつま市造園協会(坂口正仁会長)は21日、南さつま市の2公園で高木せん定をボランティアで実施した＝写真＝。

同協会が2年に1回行っている恒例の地域貢献活動。今回は、会員企業から9人が参加し、花牟礼公園と上園公園で高木せん定を実施した。

花牟礼公園であった出発式では、